

## 「釧路湿原自然再生シンポジウム・協議会の開催について」

2月26日、釧路市内のホテルで第2回釧路湿原自然再生シンポジウムが開催され、当センターはパネル展示で参加し、雷別地区自然再生事業の取組みを紹介しました。シンポジウムでは、釧路湿原塾長の月尾氏から「直線から曲線への転換：自然再生の意義」について、日本生態系協議会事務局長の関氏から「持続可能な土地利用と自然再生」について、釧路国際ウェットランドセンター主幹の新庄氏から「釧路湿原の保全・復元の歴史」について基調講演があり、その後、釧路湿原の魅力・現在の課題・将来あるべき姿と今後の取組みについて討議がありました。

翌27日には、第13回釧路湿原自然再生協議会が、構成員127名のうち59名が参加して開催されました。会議では、平成19年度の取組みである地域意見交換会、現地説明会、シンポジウムの開催報告の後、自然再生推進法の見直し状況、全国の自然再生に関する動向等について協議がなされました。当センターは運営事務局として参加し、センター所長が司会として議事の運営に当たりました。



釧路湿原自然再生協議会開催の様相



釧路湿原自然再生シンポジウム開催の様相